

(第2週)第1章 マクロ経済学の枠組み(1)

0 経済学とは何か、 市場メカニズムの捉え方(準備学習)

1-1 マクロ経済分析の目的と方法

1-2 GDPの性質

1

0 経済学の説明する「市場」

基本的な「競争市場」のモデル

- <1> 参加者に関する想定:
人々(企業や消費者)は**合理的**に
選択する(傾向がある)とみなす
- <2> 市場の効率性に関する想定:
市場は十分に**競争的**だとする

4

0 経済学の考え方

人類の生存と繁栄: 貧困(物的飢え)の克服
希少な資源(resource)が欲望を下回る

経済学のテーマ:
貧困の問題は解決されたか?
社会が経済的に繁栄するには?

経済学のアプローチ:
人々の経済活動の3つの局面を観察
・ 自然に何かの力を加えて財を生み出す(**生産**)
・ 財を社会の構成員で分け合う(**分配**)
・ 財を生活のために利用する(**消費**)

2

競争的な市場(均衡)における配分

- [A] 競争的な市場では**価格の自動調整機能(価格メカニズム)**がはたらく
- [B] 結果として、市場は**効率的な資源配分**を実現し、社会全体の豊かさ(厚生)も最大となる
- [C] ただし**効率的な配分**だからといって、人々の考える**公平性**が同時に実現されているとは限らない

5

0 市場(market)とはなにか

生産・分配・消費を通じて物的な飢えを満たし、豊かに暮らすことができるか

→ 各人が自給自足で行うより、集団(**組織**)で行う方が効率的に解決できる場合が多い

どのような組織が問題解決において機能的か
→ 経営学の問題

生産や消費の意思決定と分配の方式

- **計画的・中央集権的**な方式
- **分権的**な意思決定と自由な交換
→ これが行われる場所が「**市場**」

3

競争モデルの現実に対する説明力

現実には、市場の効率性を阻害する様々な要因が存在する。

市場にさまざまな「摩擦」が生じて、資源配分が適切に機能しない状況を、「**市場の失敗**」とよぶ。

市場の失敗が生じる場合や、市場で実現する配分が公平性の面で望ましくない場合に、政府の市場介入が正当化される。

(0 準備学習はここまで)

6

1-1 マクロ経済学とは

「市場の失敗」が生じていなければ、政府は市場経済に介入しなくてよい？

急激な好況・不況といった景気変動の問題

国ごとに成長のパターンが違うのはなぜか

物価や為替レートの不安定な変動が、企業活動や人々の生活に及ぼす影響は？

7

1-1 家計部門の特徴

家計は消費者であり、労働者であり、資産の保有者でもある。

家計は労働に対する賃金や保有資産の収益から所得を得て、財・サービスを消費し、残りを将来の消費のために貯蓄する。

家計の経済活動の大きな目的は、消費を通じて満足度を高めることであり、それと矛盾しないように労働や消費の選択を行う傾向にある。

10

ミクロ経済学とマクロ経済学の違い

ミクロ経済学は経済を構成する家計(消費者)や企業(生産者)の意思決定を理論化し、個々の市場における価格決定や財の配分について説明する

← 微小な構成要素から社会の特徴を考える

マクロ経済学は一国全体の総生産量や雇用、物価水準の決定を理論化し、政府や中央銀行の実施する経済政策の効果を説明する

← 経済全体を俯瞰して社会の特徴を考える

8

1-1 企業部門の特徴

企業は財・サービスの生産(と販売)を行う。生産活動には原材料だけでなく、土地や建物、機械などの資本(設備)と労働が必要である。企業はこれらの生産要素を要素市場で調達する。

企業が生産に必要な実物資本(設備など)を新しく購入、設置し生産のために稼働することを、投資とよぶ。

企業の経済活動の目的は、毎期の収入(売上げ)から生産要素への費用を差し引いた利潤をできるだけ大きくし、長期的に企業の価値を高めることにある。

1-1 経済主体と経済部門

経済活動(生産・消費)の意思決定を行う単位(個人や集団)を経済主体という。

一国経済には無数の経済主体が存在し、意思決定の仕方もさまざまであるが、マクロ経済学ではその特徴ごとに、大きくグループに分けて分析する。このグループのことを経済部門(または制度部門)という。

マクロ経済学では一国経済を構成する家計・企業・政府(・海外)の3(4)部門を扱う。

9

1-1 政府部門の特徴

政府(中央政府、地方政府)は市場で適切に供給されないような財(公共財)を供給する。

政府は公共サービスの供給のため、消費財や投資財に支出する費用を租税ならびに公債で調達する。

政府は公共サービスをどのタイミングでどれだけ供給するかにより、景気変動や経済成長に影響を与えようとする。課税の方式や税率の変更も同様の効果をもつ。

独占などの市場の失敗に対して規制を実施し、企業活動を制限することもある。

12

まとめのQuiz

1 経済活動の3つの局面を表すのはどれ？

- (a) 雇用 - 生産 - 販売
- (b) 生産 - 分配 - 消費
- (c) 生産 - 分配 - 支出

2 競争的な市場が実現できるものは？

- (a) 独占的な資源配分
- (b) 公平な資源配分
- (c) 効率的な資源配分

13

3 家計の活動に含まれないのはどれ？

- (a) 労働を提供し、賃金を得る
- (b) 株式や債券に投資し、投資収益を得る
- (c) 市場に介入し、価格などの調整を行う

4 企業の活動に含まれないのはどれ？

- (a) 労働を需要し、賃金を支払う
- (b) 設備投資のための資金調達を行う
- (c) 消費を通じて満足度(効用)を高める

14

次回の予定

- ・ 1-2 GDPの性質(p.10 - 11)を解説します。
- ・ テキストはできれば来週までにご用意下さい。

15